へ13
2378
72

# 雪調貢

曲亭馬琴作
勝川春扇画　前編巻

# 身代鉢木

遠 2378 72

巳卯春新板　耳泉堂梓



宮城文庫

作者の冊田稗史の種あり。時ハ省宜めをいふも言葉ふ花を咲ませ。実のある趣向ハ得易ふ。果敢ある業も三十年。労しその功あるあり。今茲の世界を宵勘定ふ積りし雪のふるふハ。繰曲ふ本ぢく常世が勲績。佐野の船橋纜ふ。繰ふ繰ふ。又ちふふ。離ふふも兎毛の茅を。痩ふふも尤ふふ揉ふ。錆雑刀ふあふ。ふふゆぶみふ墨を揚減ふ。時代と世話と木ふ竹を。接あふふる彼鉢の木。加賀ふ梅田ハ草紙の魁。又上野ふハ松が繪師。かく故事附ふ越中ふ桜木ふ鐫ふ。合せて三冊。又三冊。相違あふざる自筆の序。行燈ふ寄添ひ慢ふ述。

文政二年巳卯春正月發兌　戊寅孟夏稿成

曲亭馬琴

墨をそそ雪とぶまで
離る非と
佞を
賢
迷へる
年寒ら
松柏の操を
後ふ忠臣
雪や今朝
山をひまする紙ふくろ
○梶野源東太経景
○梶野源左衛門
常世

鉢米を焚ふ鉢木を
以て鉢ハ鐺釜ふ易て
恰好
是名詮自性ふ熟る
甚窮る
○常世妻
白映
僧ハ
敲く
納豆汁や
雪の門を
○最明寺
時頼
入道

文を右へ一巻を尤ふもれバその国強く縄を右へ酒を尤ふ

もれバその城傾く

鎌倉将軍

頼嗣

朝臣

君ふ

あ[illegible]りの民ふ

あり思ふ[illegible]りの

復若斯

一ふ[illegible]杜ふ

かるや寿の[illegible]

○三浦の[illegible]

珠衣

○三浦悪五郎

景村

暗處ふ神明あらく契ら〜明丸ふ

國法あり〜警しむ柳蔭の鶯

声外ふ聞え草間の蛍火い光水ふ映ぞ

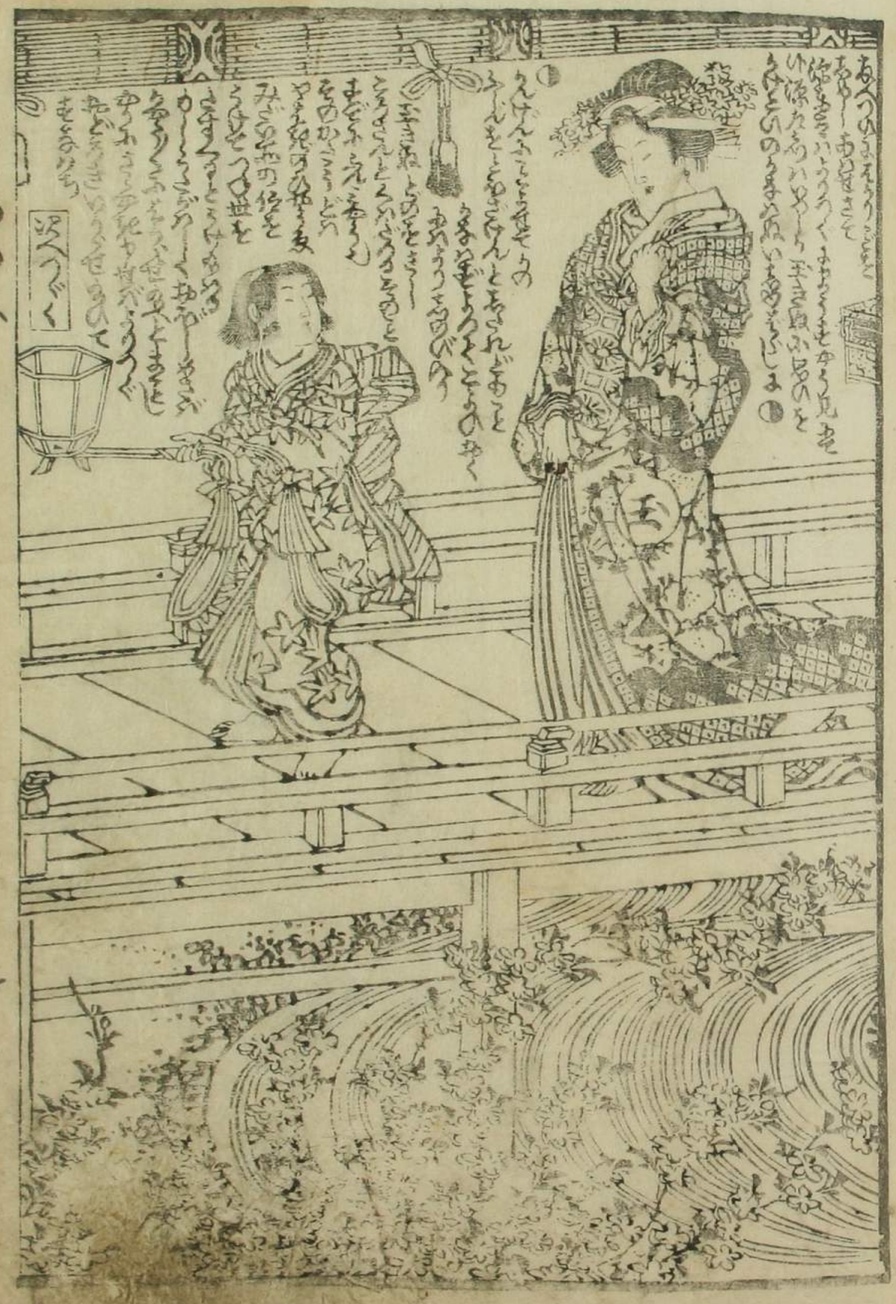
〜磨出やその〜山の月の鏑

○青砥左衛門

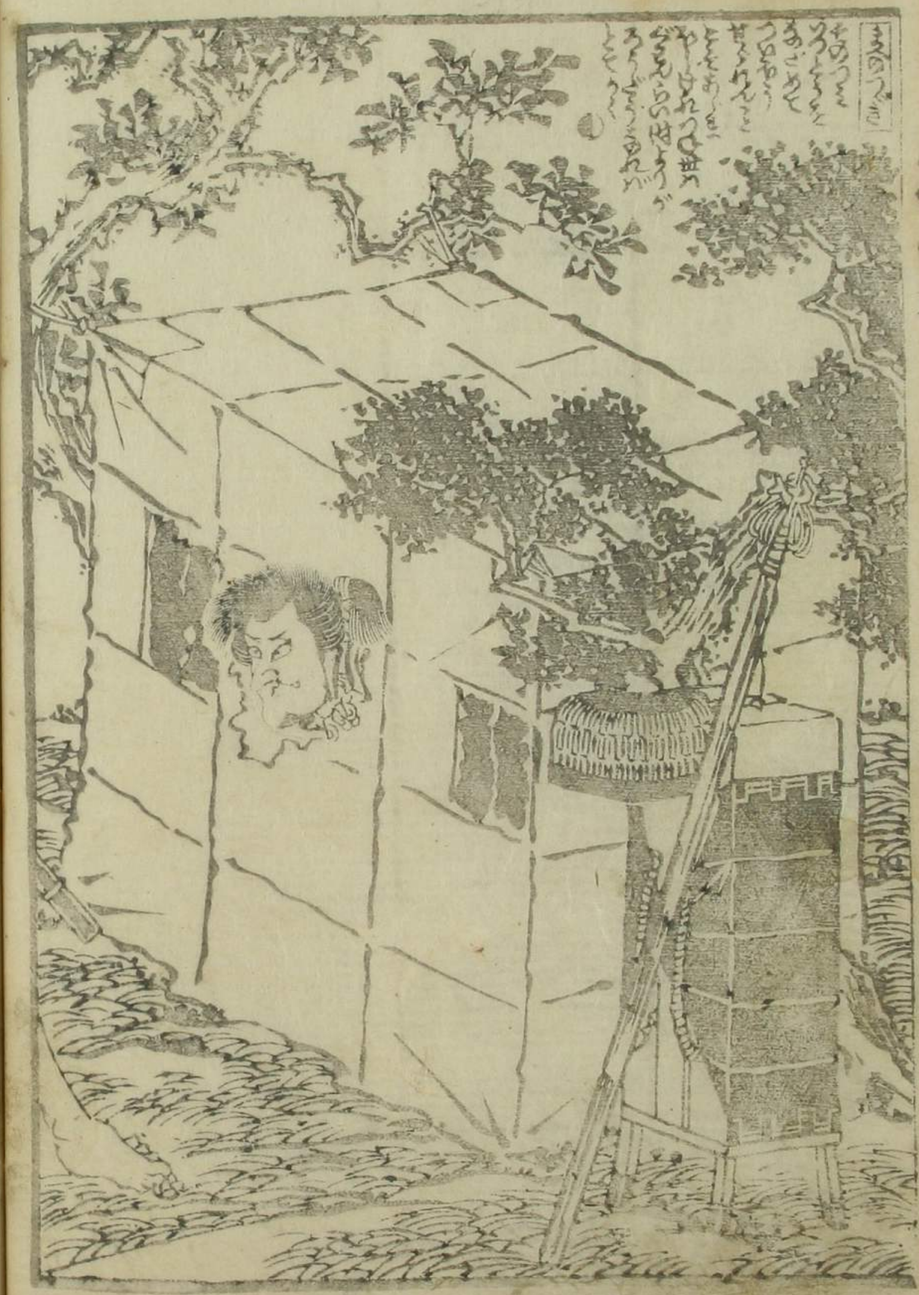
藤綱

源

矢



源
東
久
夫
三



霜
雪

恵




青

馬琴作

泉市板

# 宮城野

# 源氏絵本

曲亭馬琴作
勝川春扇画

後編巻

巳卯春

井泉堂梓

東
東

松
山右
皿
松

つぎ
松
つぎへつづく


竹
岩

東
皿


久
杉

東


五
矢

つゞき

東

源
吉

源
松
梅
つぎ

たちの末
時
源
松
青

文政二巳卯年正月新版合巻目録

雪調貢身代鉢木 全六冊 曲亭馬琴作 勝川春扇画

画組八京 傳 新向八堂溪人 其侠蝶冊前 全六冊 東里山人作 勝川春扇画

阿妻八郎兵衛 全六冊 東西葦南北作 勝川春扇画

小むらさき死權八 全六冊 月光亭笑寿作 勝川春扇画

餘斗の仕業 全三冊 東里山人作 勝川春扇画

本草盲目集 全三冊 東西葦南北作 勝川春扇画

千の侍の夢 園葦 薄雪草紙 全六冊 東里山人作 勝川春扇画

小難半兵衛 蝙蝠羽織昔通人 全六冊 東西葦南北作 勝川春扇画

釜田又八

江戸芝神明前 三島町 京泉堂 和泉屋市兵衛梓